

『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第20号(2008年12月12日)「人生のご褒美はマレーシアで。」



旅以上、永住未満の『ロングステイ』

最近、中高年の間で、「ロングステイ」の関心が高まっています。個人的にはロングステイと聞くと、引退後とイメージしてしまいます。しかし若い人たちにとっても、人生の後半を充実したものにするためには、早めに人生設計を立てて準備することが必要です。新聞等でもロングステイ関連のセミナーのお知らせを見かけることが多くなり、大勢の人々が興味を持ちはじめているようです。

ロングステイは、現地の人々と深く接点を持つ機会が多いため、生活から文化の違いまで根っから理解することができ、ものを見る視野や尺度が広がるのが旅行との最大の違いと言えます。

将来はマレーシアでロングステイ

ロングステイ希望国としては、マレーシアが3年連続で上位5カ国に入り、去年、今年も首位となっています。男性女性問わず、共にマレーシアが圧倒的に支持されているようです。

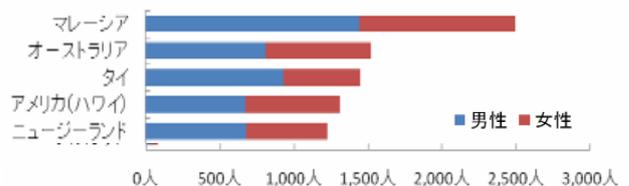
マレーシアの人気の理由は、なんとと言っても治安が良く、物価も安いことですが、その他にもいくつか理由があります。

専門家によれば、マレーシアは世界有数の親日国としても有名で、世界の中で日本人が引退生活をする国として一番向いている、とも言われています。ゴルフ、ダイビング、ショッピング、スパ、そして世界遺産と楽しみも盛り沢山で、また医療についても先進国並みの医療レベルと言われ、日本語が通じる病院も多数あり、日本人にとって非常に安心感が高いと言えます。

平均的なマレーシアの物価は、日本の3分の1で、住宅費は10分の1以下です。つまり10万円の年金があれば約30万円レベルの生活がエンジョイできるわけです。日本の夫婦の平均年金額は19万円程度(月額)ですので、一人一日3千円の生活です。日本で生活するならば、半分を食費にまわし残り半分を生活必要経費にまわすと、余暇として使用できるお金はほとんどなくなります。しかも、これから年金支給額は下がると言われていますので、若い人にとってはより深刻な問題となります。周知の人生設計を描いて実行に移さないと大変なことになるかたがねです。

また物価が安いこと以外にもマレーシアには人気の理由が多くあります。主なものとしては「生活する上でのインフラが整っている」「日本との時差が1時間」「英語が通じる」などがあげられます。特に気候が温暖なので、日本の暑さ、寒さが厳しい時期や、花粉が辛い時期のみ滞在する、いわゆる“渡り鳥的な生活”を楽しむ人も多いようです。花粉症の私には非常に納得がいきます。

ロングステイ希望国 TOP5



出所: ロングステイ調査統計2008



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



マレーシアの強み

ロングステイで人気のマレーシアですが、経済については昨今の米国サブプライムローン問題の影響は相対的に小さく、現地の金融機関への影響も少ないといわれています。またイスラム金融のハブでもあり、海外直接投資(FDI)も促進され経済の刺激策となっているようです。

観光業は国を挙げて取り組んでいる主要産業の1つですが、壮大な自然が残っているため、中国や中近東などの観光客が拡大し、5年間で約2倍以上に増加しています。

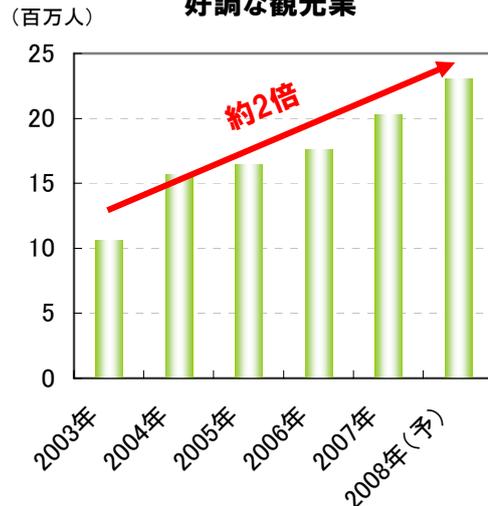
外国人を呼び込む誘導策

マレーシア政府は、マレーシア・マイセカンドホーム(MM2H)プログラムという外国人呼び込みの強化策を打ち出しています。これは10年間有効な退職者ビザ制度で、自由にマレーシアに出入国できるという画期的なプログラムです。

滞在ビザを所持しない外国人でも、マレーシアの銀行で不動産ローンを組むことができるため、シンガポール、香港、欧米、韓国、中近東の投資家による投資が始まっているようです。また特定地域での不動産取得税の廃止を発表し、さらに海外からの投資を呼び込む狙いがあります。この他にも海外から多くの投資を呼び込むための様々な優遇措置が検討され、今後テーマパーク誘致計画なども発表される予定です。

(編集後記) 老後のロングステイは憧れです。どこで、誰と、どんな生き方を選び、自分が満たされるか。もちろん日本で老後を迎えるのもいいですが、いずれにせよ、人生の後半を楽しく生きたいものです。しっかりと人生設計と思い切った決断さえ出来れば、そう難しいことではないかも知れません。

好調な観光業



出所: ロングステイ調査統計2008

その他の海外投資、外国人呼び込み政策

- 1) 2006年末、FIC(外国投資委員会)の許可が不要
- 2) RM※250,000以上の物件ならば、何戸でも購入可能
- 3) 2007年4月、キャピタルゲイン税が免除

※RM: マレーシア・リンギット(マレーシアの通貨単位)

(見に行っちゃいな)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。